

グリーン いしかわ



Green Ishikawa No.130

f 全農いしかわ公式
Facebookページ

全農いしかわの公式Facebookページ
「石川うまれがだいすきさ」

県産農畜産物やJA加工品、イベント
情報などを掲載中! ぜひご覧ください!

URL: www.facebook.com/ishikawaumare.daisukisa



謹賀新年



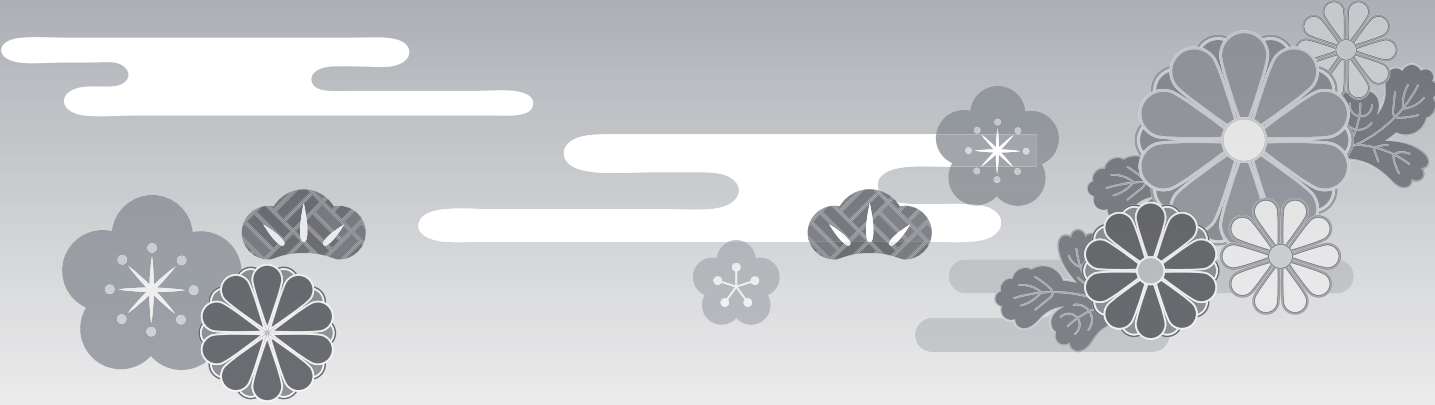
Green Ishikawa Contents

▶News&Topics

- 新年のご挨拶
- JAグループ石川 担い手応援フェア
- のとてまり初出荷&初競り
- ツエーゲン金沢ホーム試合で県産農畜産物PR
- 平成30年度 JA-LPガス燃料転換推進接客コンテスト
- 県産「切り花葉ばたん」の本格出荷について
- 平成30年度 JA施肥防除合理化モニター協議会 試験成績発表会
- 平成30年度 県本部・グループ会社合同研修会
- 平成30年度 JAグループ石川 担い手推進担当 (TAC・融資担当連携) ロールプレイング大会
- AガイヤにおけるJA加工品等販促イベント
- 自動車ビッグフェアinこまつドーム開催
- 平成30年度 高圧ガス保安功労者等知事表彰

▶お知らせほか

- Beishinおこめキッチン
- 住宅施工物語
- 米広告



新年のご挨拶

J A全農いしかわ

運営委員会会長 西 沢 耕 一



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平成31年の年頭にあたり、本県農業と J Aグループの一層の発展を祈念し、一言ご挨拶を申し上げます。

皆さまご存じのとおり、今、全国の J Aグループでは、「農業者の所得増大」を目指して自己改革を実践している最中ではありますが、向こう3か年は、「農協改革集中推進期間」の期限(平成31年5月)、改正農協法附則に盛り込まれた准組合員の事業利用規制について調査・検討を加えて結論を出すとされている、いわゆる「5年後検討事項」の期限(平成33年3月)を迎えます。

こうした期限に加え、政府の規制改革推進会議のフォローアップ等もふまえると、より一層の自己改革を実践し、成果を明らかにすることが求められています。

次期3か年は、“自己改革の2サイクル目”として営農経済事業の改革や組合員との対話運動等を普遍的な取り組みとして継続しつつ、J Aが自主・自立の組織として「農業・地域に欠かせない存在であり続けること」をより明確に打ち出していく重要な期間であります。

本会では、今回策定された「第38次 J Aグループ石川基本戦略」に基づき「創造的自己改革の実践」を主題として、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」の基本目標へのさらなる挑戦に加え、それを支える持続可能な「経営基盤の強化」を課題とし、次期3か年計画に掲げた重点実施策の着実な実践に取り組んでまいります。

最後になりますが、会員 J Aの皆様には、旧年に倍するご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

J A全農いしかわ

県本部長 穴 田 睦 実



新年 明けましておめでとうございます。

平成31年の年始にあたり、昨年中に皆様から賜りました、ご支援、ご協力に厚く御礼申し上げますとともに、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、2月の豪雪に始まり夏場の猛暑や台風による記録的な大雨など多くの気象災害が発生し、県産農産物への影響が非常に心配されましたが、各品目とも無事に出荷できたことは、生産者の皆様を始め関係各位の徹底した栽培管理の賜物と、心より感謝申し上げます。なかでも販売2年目を迎えた県産米新品種「ひゃくまん穀」は上々の仕上がりとなり、県内各地で数多くのイベントを開催し、認知度向上をはかることができました。

一方、農業を取り巻く情勢については、昨年末に発効されたTPP11のほか、日EU・EPAの動向や日米2国間の新たな貿易協定の交渉開始など、国際情勢は予断を許さない状況が続いています。また国内においても、国による数量目標配分が廃止された主食米に関して、需給バランスの崩れと価格下落への不安が拭えません。

このような中、本会では、自己改革の取組の加速化と、5～10年先を見据えた施策を織り込んだ次期3か年（平成31～33年度）計画を策定しました。次期3か年では、「農業生産の拡大」、「販売力の強化と県内産農畜産物の消費拡大」、「トータルコストの低減」、「JA事業への支援拡充」、「事業シェアの拡大」の5項目を柱とする重点実施策に、それぞれの部署がスピード感をもって取り組み、今こそ、生産者・JAから頼られる組織となるべく、事業を遂行してまいります。

本年が、皆様にとって良き年になるようご祈念申し上げますとともに、一層のご協力とご鞭撻をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。



JAグループ石川
営農戦略室JAグループ石川 担い手応援フェア
～未来へつなごう、石川の農業～

12月8日(土)、石川県産業展示館3号館にて、初の試みとして、担い手農業者との意思疎通と、さらなる信頼関係の構築を目指し「JAグループ石川 担い手応援フェア」を開催しました。当日は、農業者、一般客合わせて約1,200名が来場し、JA役職員約200名が参加しました。

各ブースでは、省力・低コスト農業ゾーンや園芸振興ゾーン、マネージメント農業ゾーン、ハイク・スマート農業ゾーンなど、農業に関するあらゆる分野が集結し農業者がより安全に、より効率的な農業経営ができるための提案を行いました。その他、JA自己改革ゾーンでは各JAの自己改革の取組みや、6次化商品の取組みについて展示がありました。また、メインステージやワークショップでは、日本農業の将来や、気候

変動について、人材育成についてなどの講演が行われ、農業者の方が熱心に参加していました。

JAグループ石川では、創造的自己改革として「農業所得の増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」の3つの基本目標実現をスローガンにさらなる取組みを行っていきます。



JA自己改革ゾーン



賑わう会場



講演会に聞き入る農業者

園芸課

のとてまり初出荷セレモニー・初競り

過去最高値20万円で競り落とされた
「のとてまり」プレミアム

12月17日(月)、全農石川県本部穴水事務所において、「のとてまり」の初出荷が行われました。今年は夏の猛暑の影響により、順調に椎茸が発生するか心配されましたが、生産者の徹底した管理と努力により、立派な椎茸になりました。検査員により、「のと115」755玉のうち169玉が「のとてまり」、さらに昨年の2倍の12玉が「のとてまりプレミアム」に格付けされました。

翌18日(火)には、金沢市中央卸売市場において、「のとてまり」の初競りが行われました。

初競りの前には生産者や関係者が一同に会し、初競りセレモニーが行われ、奥能登原木しいたけ活性化協議会の垣内会長より、「猛暑等厳しい気候条件の中、生産者の努力により無事出荷を迎えられた。生産者の励みになるような評価をお願いしたい」と挨拶がありました。



挨拶する垣内会長（写真中央）

その後の初競りでは、出荷された「のとてまり」25ケースのうち、「のとてまりプレミアム」6玉入り1ケースに過去最高となる20万円の値がつけられました。

奥能登原木しいたけ活性化協議会では、今年度の「のとてまり」の出荷目標を11,000玉としており、3月末までの出荷を予定しています。



競りの様子

の
と
て
ま
り

奥能登地域（2市2町）で生産され、傘の直径が8cm以上、肉厚が3cm以上、傘の巻込みが1cm以上と厳しい格付け基準をクリアしたものだけに与えられるブランド称号。その中でも特に優れたものが「のとてまりプレミアム」に認定されます。

畜産部・
開発広報課

ツエーゲン金沢ホーム試合で県産農畜産物PR

ブースを盛り上げる「べこりん」と
ツエーゲン金沢の「ヤサガラス」

11月17日(土)の今シーズン最終戦
(V S 水戸ホーリーホック戦)に

て、能登牛・能登豚のPRブースを出展し、能登牛コロケや能登豚メンチカツ、能登牛・能登豚二九饅、「ひやくまん穀」のおにぎりやJA加工品のお茶の販売を行いました。

当日は気温が低かったこともあり、コロケや肉まんは大好評で、能登牛や能登豚の美味しさを多くの方に知ってもらうことができました。また、能登牛PRキャラクターのべこりんもPRに駆けつけ、ツエーゲン金沢のキャラクターとともにブースを盛り上げました。

その他にも、北陸農政局が「ごはん食」PRのため、「日本型食生活と運動」についてのリーフレットを配布しました。それに合わせて販売した「ひやくまん穀」のおにぎりは早々に完売となり、ごはん食と運動の大切さを来場者にPRできました。

本会では今後も関係機関と協力しながら、スポーツを通じた県産農畜産物PR活動を積極的に行っていきます。



リーフレット配布する北陸農政局職員

燃料課

平成30年度
J A - L P ガス燃料転換推進接客コンテスト

11月22日(木)にJA石川教育センターにおいて「平成30年度JA-LPガス燃料転換推進接客コンテスト」を開催し、JA-LPガス担当者7名が参加しました。

本コンテストは「灯油ボイラーからガス給湯器」、「灯油ファンヒーターからガスファンヒーター」といった灯油からガスへの燃料転換推進活動の普及・拡大を図る目的で行われており、今年で4回目を迎えます。



選手と審査員で記念撮影

今回のコンテストでは、本会から台本を用意せず普段の接客を見せていただくことにより、各競技者のオリジナリティに重点をおいた審査内容としました。

各競技者は「ガスは高い・危険」といった顧客の不安や、「灯油の給油が大変」といった不満を解消しながら燃料転換を推進しました。さらに、各自工夫を凝らした接客ツールを用いることでガスの良い点をアピールしました。

最優秀賞はJA小松市の藤本弘樹さん、優秀賞はJA根上の新記伸夫さん、JA能美の下中雄司さんが受賞されました。本会では今後もガス事業における接客技術の向上を支援し、お客様の満足度向上に努めていきます。

園芸課

県産「切り花葉ぼたん」の本格出荷について

12月14日(金)、JA金沢市砂丘地集出荷場で、最盛期を迎えた正月用の県産「切り花葉ぼたん」の本格出荷が始まりました。加賀から能登までの9JAで生産される切り花葉ぼたんは、全国的にもトップレベルの品質として評価されており、出荷量も全国で3位です。

今年は夏場の猛暑等の影響で、大きさにばらつきが見られるものの、11~12月の冷え込みにより、発色の良い切り花葉ぼたんに仕上がりました。

葉ぼたんの花言葉は「祝福」。県産の切り花葉ぼたんは県内外に出荷され、お正月の玄関等に彩りを添えます。

切り花葉ぼたんを収穫する、県花き園芸協会
切り花葉ぼたん振興会の西村俊雄会長



TAC 営農推進課

平成30年度 JA施肥防除合理化モニター協議会 試験成績発表会

12月12日(水)、平成30年度JA施肥防除合理化モニター協議会の試験成績発表会を開催しました。県内各JAのTACや営農担当者、肥料・農薬メーカー関係者、本会職員の38名が参加しました。

本協議会では、各JAの営農担当者が、管内における施肥防除の課題を抽出し、その課題解決を目的とした肥料農薬等の資材や技術を選定し、生産者の協力を得て実証に取り組んできました。

今回の発表会では、豆つぶ剤や顆粒剤等の省力剤を利用した除草作業の軽労化をはじめとし、各担当者が実証し得られた結果や、生産者の声、今後の課題や展開についてパワーポイントを使用して発表し、情報を共有しました。

また発表後、石川県農林総合研究センターの猪野担当課長より、30年産米の生育概況と次年度対策についてご講演いただき、参加者は熱心に聞き入っていました。

協議会では2月に次年度の取り組みについて検討し、農家組合員の手取り最大化につなげるために、取り組みのさらなるレベル向上を図っていきます。



総務課

平成30年度 県本部・グループ会社合同研修会

12月6日(木)、県本部職員、グループ会社社員合計140名参加のもと、「平成30年度県本部・グループ会社合同研修会」を開催しました。現在、東京大学大学院農学国際専攻の教授を務める鈴木宣弘氏を講師として招き、「日本農業の未来を拓く、強い農業への道」と題して、TPP11等、日本の農業を取り巻く国際情勢や食の重要性・安全性についてご講演いただきました。時にユーモアを交えた講演は、説得力があり分かりやすく、会場からは笑いが起こる場面もありました。



JAグループにとって厳しい状況が続く中ではありますが、この講演を機に、職員一人一人が農家組合員を支え、安全な国産農畜産物を消費者に届けるという姿勢を貫くことが大切であることを改めて学びました。

本会として今後も様々な研修を開催し、職員の能力・資質向上に努めていきます。



東京大学大学院
農学国際専攻 教授 農学博士
鈴木 宣弘 氏

JAグループ石川 営農戦略室

平成30年度 JAグループ石川 「担い手推進担当(TAC・融資担当連携) ロールプレイング大会

11月27日(火)、農業会館6階にてTACロールプレイング大会を開催し、県内8JAと関係者、合計約130名が出席しました。

日常業務を意識したロールプレイングを実施することによる、TAC・融資担当者のスキルアップとモチベーション向上、およびJAと農家組合員の信頼関係強化を目的に開催しており、今年度で5年目となります。

大会では、3人1組で「担い手農家への所得増大に向けた提案」をテーマに競技を行いました。挨拶や応酬話法、印象、所得増大効果を農家に示すデモブックなどの項目を評価し、合計得点を競いました。

各JAのTACや融資担当者は担い手農家に実際に提案を行うことを想定し、工夫を凝らしたストーリーを事前準備し、練習を重ねてきた成果を発揮していました。

最優秀賞はJA金沢市の上田さん・大西さん(TAC)・笠井さん(融資)、優秀賞はJA松任の西川さん・吉田さん(TAC)・安實さん(融資)、JAおおぞらの橋本さん・室谷さん(TAC)・浦西さん(融資)が受賞しました。



最優秀賞のJA金沢市のロールプレイング

AガイヤにおけるJA加工品等販促イベント

JA金沢市

● 11月9日(金) ●

旬の「五郎島金時」の焼き芋と、菓子類の試食イベントを行いました。ほくほくでほんのり甘い焼き芋は、お客様に喜ばれ大好評でした。五郎島金時の菓子類（いしやきいも・ようかん・カステラ）も県内外問わず大人気でした。



JAすずし

● 11月16日(金) ●

「能登大納言」を使った加工品（かのこ・パウンドケーキ）の試食イベントを行いました。粒が大きくて食べ応えのある「能登大納言」は大好評でした。

JA小松市

● 11月19日(月) ●

旬の小松産「にんじん」を、バターソーテーにして試食を実施しました。甘みがあって色鮮やかなにんじんは好評で、たくさんのお客様に手に取っていただきました。



加賀丸いも

● 11月26日(月) ●

南加賀地区丸いも生産協議会による「加賀丸いも」の試食イベントを行いました。すりおろして団子状にし、湯通しした丸いもをたくさんのお客様に召し上がっていただくことができ、丸いもの美味しさをPRするよい機会になりました。



肉の日

● 11月29日(木) ●

いいにく 1129の日ということで、「能登牛」と「能登牛コロッケ」の試食販売を行いました。能登牛のとろけるような柔らかい食感、お客様にたいへん喜ばれました。また本会オリジナルの「肉匠 J a d e 金澤」焼肉のたれも「まるやかな甘みが美味しくお肉がたくさん食べなくなる」と大盛況でした。



JAおおぞら

● 12月7日(金) ●

JAおおぞらの「山菜塩蔵」の試食販売を行いました。能登里山で春に収穫された山菜をじっくりと塩漬けた商品で、年末年始に販売されます。山菜はしゃきしゃきした歯ごたえが特徴で、年配の方を中心に大好評でした。





JA石川かほく

● 12月14日(金) ●

J A石川かほくの「いけなら紫細うどん」をカルボナーラ風にアレンジして試食を行いました。きれいな紫色の麺は珍しいと大好評でした。

また、いけなら紫の甘納豆やチョコサンドも県内外問わずたくさんの方に手に取っていただきました。



JA能美

● 12月21日(金) ●

旬の「加賀丸いも」をすりおろしてのせた、「加賀丸いもそば」の試食を行いました。粘りの強い丸いもとコシがある麺はよく合い、美味しいと大好評でした。

自動車課

自動車ビッグフェアinこまつドーム開催

12月15日(土)～16日(日)に、こまつドームにて、南加賀地区4 J A協賛のもと「自動車ビッグフェアinこまつドーム」を開催しました。

こまつドームでの開催は、昨年に引き続き2回目の試みで、新車・中古車併せて150台と、南加賀地区最大級規模の自動車展示台数を揃えるとともに、15日(土)はツエーゲン金沢による少年サッカー教室、16日(日)は元プロ野球選手の広瀬氏による少年野球教室を開催し、集客を図りました。また、ディーラー4社によるサポカー体験会も実施しました。



南加賀地区最大級の展示台数



少年サッカー教室

とちゃんふわふわ、輪ゴム銃射的やフードコーナーなどもあり、家族連れのお客様に大変好評でした。

そのほか、自動車共済・ローン相談コーナー、J A特産加工品コーナーを設置し、J Aの総合事業としての強みを十分に発揮したイベントとなりました。

開催日前より、各J A担当者の協力のもと、チラシ・ポスターで一斉推進を実施するとともに、朝刊やタウン情報誌などで告知P Rを実施しました。その結果、フェア当日は心配されていた天候にも恵まれ、会場は盛況で、2日間で358組のお客様が来場し、60台の成約となりました。

また、他のイベントではクイズラリー、車への落書きコーナー、こま



少年野球教室

(株)JA建設 エナジー

平成30年度 高圧ガス保安功労者等知事表彰

12月20日(木)、石川県庁において、「平成30年度高圧ガス保安功労者等知事表彰式」が開催され、J A建設エナジー羽咋事業所の前田清さんが「高圧ガス優良製造保安責任者」として表彰されました。前田さんは平成6年以来羽咋事業所に勤務し、主にL Pガスの充填作業に従事しながら、L Pガスの保安管理体制の充実に尽力されてきました。

前田さんは、「危険物を取扱っていることを再認識し、今後も安全第一に業務に取り組みたい」と受賞の喜びを話しました。



表彰された前田さん(写真左)と谷本知事(写真右) ▶



Beishinおこめキッチン金沢駅あんと店 新商品を発売中!



金沢名物ハントンライス

(税込750円)

新品種米「ひやくまん穀」でのチキンライスは相性ばっちり!
とろとろ玉子とミックスフライを使用した金沢名物です。
ぜひお召し上がりください♪

能登牛すき焼きと 能登豚生姜焼きのよくばり弁当

(税込1,200円)

人気商品を冬季限定でリニューアルしました!
能登牛を焼肉から、すき焼きへと変更しております。

Beishin
おこめ
キッチン

Beishinおこめキッチン
金沢駅「あんと」店
TEL. 076-208-3119
営業時間 8:30~20:00



「つくる」と「たべる」のあいだに。——

株式会社 米心石川



楽しく子育てできる家

この住まいは、子育てを楽しむことをコンセプトに計画しました。水廻りがまとまっていて効率よく家事ができる動線設計、子供も片付けの手伝いができるように適材適所に収納を配置、子供が楽しく走り回れる回遊動線、お昼寝兼遊び場になる畳コーナー等、子育てへの配慮が満載です。

また建物の気密性能を示すC値が0.7 cm³/m²で、第三種換気方式の住まいにおいては十分な施工精度で建てることができました。隙間が少ないので、熱損失が少なく快適な住まいとなっています。



LINE@導入しました。
LINEで気軽にお問合せ下さい。



多目的に使える4.5帖の畳コーナー



木造/2階/新築/延べ床面積130.2㎡ (39.4坪)

高い気密性能で広々としたLDKも快適に過ごすことができる



洗面、サンルーム、クローゼットが回遊できて、洗濯作業がスムーズ

新築・リフォームのご相談はJAホームまで
(株)JA建設エナジー 住宅課

TEL 076-240-5441 HP <http://www.jahome.jp/>



あけましておめでとうございます

石川米がつなぐ愛情の輪【年始の誓い】

季節を愛で、
好天を祈り、
おいしい笑顔に
つながります。

おいしい笑顔に
つながります。



昨年は大雪にも負けず、
台風にもめげず、夏の暑さも乗り越えて、
おいしいお米を食卓へお届けすることができました。
今年もみんなの笑顔のために真心込めて
安心・安全なおいしさを
お届けしてまいります。

JAグループ石川

加賀・能登の大地で育った美味しい石川県産食材にこだわり、安全と安心、健康で豊かな食生活をお届けする。それが私たちの使命です。

JA加賀、JA小松市、JA星上、JA能美、JA白山、JA松任、JAののいち、JA金沢中央、JA金沢市、JA石川はく、JAはくい、JA志賀、JA能登わかば、JAおおぞら、JA町野町、JA内浦町、JAすれし、JA石川県中央会、JAマング石川信濃、JA共済連石川、JA全農いしかわ

石川米のキャラクター
ライスグ

私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

発行所／全国農業協同組合連合会 石川県本部
管理部 開発広報課

〒920-0383 金沢市古府1丁目220番地
TEL (076) 240-5371 FAX (076) 240-5319
http://www.is.zennoh.or.jp